

信州うえだ東京の集い

協賛 一般社団法人 信州上田観光協会 別所温泉観光協会 菅平高原観光協会 鹿教湯温泉観光協会 武石観光協会

盛大に信州うえだ東京の集い 1時間早めに開会、好評 松倉顧問、力強いあいさつ

「信州うえだ東京の集い」は好天に恵まれた10月6日（金）、台東区の浅草ビューホテル3階「祥雲の間」で開催され、上田からの来賓を含め125人が参加して和やかに楽しんだ。今回は初めて午後4時開会と例年より1時間早く、閉会も早くなり好評だった。

午後5時から会員の望月千波さんと大石雪江さんの司会で始まり、実行委員長小山恵司副会長のあいさつの後、第1部のメインはインドネシア出身のルイイ・ハルディパンダさんのエレクトーン演奏とシャソン歌手・長瀬ゆきさんが「百万本のバラ」などを語るように歌い、伴奏のルイイさんと大竹信之さんのベースがもり立てた。

第2部は午後5時10分から山崎会長が「1時間早めでの開催で多くの皆さんにお集まり頂き感謝します。この会も28年目を迎えた。「義理と人情」を大事に上田市の発展に貢献していきたい」とあいさつ、続いて当会顧問の松倉久幸さんが久々に登壇され「浅草はにぎやかになっている。上田の発展のため、東京から上田にお越しいただき秋を楽しんでほしい」と力強いあいさつされた。

▼上田城櫓復元へ立ち上がる
続いて土屋陽一市長は「ふるさと

納税・寄付は今年は企業版に取り組んでいきたい。最近上田城の櫓を4つ復元しようと市民の会が立ち上がった。旧市民会館を解体し前に進めたい。映画、中山晋平のロケが始まった。上田市で半分ほど撮影される。北信越69市の市長会が本日あり、北陸新幹線が3月に敦賀まで延伸され会議の繋がりが広がる。様々な変化に対応していきたい」と抱負を述べた。

堀内健一商工会議所会頭は「この会は初めてでうれしく思う。品川生まれで中高は真田、上田高、大学で東京に来た。上田の会があることは知らなかった。withコロナのなか、夏の大花火大会、上田わっしょいとも盛大に開催できた。秋の地域産業展、真田まつり、紅葉まつりを同時期に開催する。子ども達も地域参加ができる。上田城復元を目指す市民の会が立ち上がった。寄付金の募集など周知していきたい」。コロナ禍からの復興を強調された。

▼食料の安全保障に努力
眞島実J A組合長は「農作物は春先に凍霜害などで被害が出たが農家のご努力で、10月の米、リンゴ、野菜など収穫の最盛期を迎えた。ブドウは例年より1週間から10日早い。生産資材の高騰はあるが、食料の安全保障の確立、国消、国産に取

り組んでいる。本日は秋映りんごと塩田のコシヒカリを持参した」と話し盛大な拍手を浴びた。

佐藤論征市議会議員の音頭で乾杯し、歓談に移った。途中で服部征夫台東区長と井出庸生、神津たけし両衆議員と羽田次郎参議員があいさつした。

▼和やかに懇談

懇親会はお馴染みの櫻川梅笑一門、上田笑楽会による江戸芸かつぼれで盛り上がり、久しぶりの顔合わせで席を立って動きながら笑顔で乾杯したり、握手を交わしたりする姿があちこちで見られた。昨年は1卓10人のところ6-7人に押さえ個別料理だったが、今年は8-7人で卓に配膳された料理を分け合って食べた。思ったより料理が多く、残した席も見受けられ、皆さんに満足してもらえたようだった。

最後にオペラ歌手中澤公子さんの指揮で「信濃の国」を歌った。病から回復された松倉久幸さんが、山崎会長や土屋市長らと共に登壇して手を振り上げ元気に最後まで歌われたのが印象的だった。お開きでは来年の実行委員長担当、上田染谷高校の水野美代子副会長、土屋邦子副会長を中心に「皆さん、来年もぜひ」と締めくくり、これまでより早い午後8時に閉会した。

【好評の上田の地酒】

「信州うえだ東京の集い」には毎年、長野県酒造組合上田支部（支部長・信州銘醸・滝澤恭次さん）からふるさとの地酒をご寄附頂いています。厚くお礼申し上げます。

地酒提供者：信州銘醸（喜久盛）岡崎酒造（亀齢）沓掛酒造（福無量）若林醸造（月吉野）和田龍酒造（和田龍）山三酒造（真田六文銭）



土屋市長



堀内会頭



眞島組合長



演奏を聞き入る参加者



左から土屋市長、司会の望月さん、大石さん、成澤顧問、小山実行委員長



会場を盛り上げる江戸芸かつぼれ



左から：ルイイさん、大竹さん、長瀬ゆきさん



松倉顧問(右から3人目)を囲み信濃の国合唱